

# インフォメーション・コーナー

## 会 告

第 26 回水土技術セミナー「機能保全における性能設計」の開催について ㊦	62
第 4 回産学連携推進セミナー「ストックマネジメントとその周辺技術（仮称）」への参加募集について ㊦	63
平成 21 年度会員名簿の掲載事項について	63
学会創立 80 周年記念出版「水土を拓く 知の連環」の刊行について	64
農業農村工学会誌（総称）総目次（第 6 集）の発行について	64
平成 22 年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）	64
平成 21 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について（再）	64
学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!	65
「農業農村工学会学術基金」の募金について	65
農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い	66
身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!	
「水土の知（農業農村工学会誌）」平成 22 年夏季の表紙写真の募集	66
「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております!	67
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について	68
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の Editorial Panel の新体制について	69
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2009 年 1 月から 2011 年 12 月までの編集事務局（投稿先）のお知らせ	69
第 12 回(2010 年)「日本水大賞」募集要項について	70
第 60 回関東支部大会講演会申込先および問合せ先（事務局）の E-mail アドレスの訂正について	70
第 58 回北海道支部研究発表会の開催について（第 1 報） ㊦	71
平成 21 年度東北支部総会・第 52 回研究発表会ならびに第 43 回支部研修会・第 33 回地方講習会の開催について（第 3 報） ㊦	71
平成 21 年度九州支部第 90 回講演会・ポスターセッション・第 32 回講習会・シンポジウム・現地見学会の開催について（第 2 報） ㊦	72
平成 21 年度農村道路研究集会・現地研修会開催について ㊦	74
第 22 回水文・水環境研究会シンポジウムの開催について ㊦	75
平成 21 年度資源循環研究会研究発表会の発表申込みについて ㊦	76
農業農村工学会論文集第 262 号内容紹介	77
学会記事	80

### 第 77 巻第 9 号予定

**展望**：食料の自給率について：祖田 修

**小特集**：食料自給力の向上に向けた農業農村工学

食料自給率に関する農林水産省の取組み：小倉健一郎

水田の高度利用を可能とする地下水水位制御システム FOEAS：若杉晃介ほか

飼料用稲の特性と耕作放棄地への導入：松村 修

小学生新聞ブログを活用した食料自給率向上キャラバンの取組み状況：松野良一

### 技術リポート

北海道支部：農業用パイプラインに対する相関式漏水探査法の適用性：中川靖起ほか

東北支部：分水槽への「らせん案内路式ドロップシャフト」の適用について：佐藤 孝ほか

関東支部：手野式ハス田の圃場整備：菊池智士

京都支部：木津用水路における水質の簡易浄化：一阪郁久ほか

中国四国支部：広域農道における生態系・景観保全対策とその効果に対する検証と改善：秋山浩三

九州支部：ダム貯水量の不足による節水灌漑への転換：篠原淳一

**小講座**：食料自給率：國分義幸

**私のビジョン**：「なんぼろ農業 I ターン構想」～農業に就職しよう!!～：三浦裕一

## 農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちしております。

のマークは、技術者継続教育認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成21年9月 3,4日	畑地整備研究部会	第47回畑地かんがい研究集会	 地域の特徴を活かした畑地農業の展開	岐阜県内	77巻35号
平成21年9月 10,11日	農村計画研究部会	第31回現地研修集会	 農山漁村(ムラ)のこころ	札幌市	77巻56号
平成21年9月 24,25日	水工技術セミナー 実行委員会	第26回水工技術セミナー	 機能保全における性能設計	東京都	77巻8号
平成21年10月 21日	関東支部	第60回講演会		千葉市	77巻7号
平成21年10月 27,28日	九州支部	第90回講演会・ポスターセッション・シンポジウム・第32回講習会・現地見学会		鹿児島市	77巻68号
平成21年10月 28日	北海道支部	第58回研究発表会		札幌市	77巻8号
平成21年10月 28,29日	中国四国支部	第64回講演会		徳島市	77巻57号
平成21年10月 29,30日	東北支部	第52回研究発表会 第43回支部研修会・第33回地方講習会		青森市	77巻67号
平成21年11月 5,6日	京都支部	第66回研究発表会		富山市	77巻57号
平成21年11月 5,6日	農村道路研究部会	平成21年度研究集会・現地研修会	 農業農村振興に果たす農道の役割～農道のメンテナンスを中心に～	宮城県	77巻8号
平成21年11月 19日	行事企画委員会	第4回産学連携推進セミナー	 ストックマネジメントとその周辺技術(仮称)	東京都	77巻8号
平成21年11月 26,27日	水文・水環境研究部会	第22回シンポジウム	 農林地および広域の水文・水環境	つくば市	77巻8号
平成21年12月 10,12日	資源循環研究部会	平成21年度研究発表会	 農村における水やバイオマス等資源の利活用および循環	東京都	77巻8号

### 第26回水工技術セミナー「機能保全における性能設計」の開催について

#### 水工技術セミナー実行委員会

技術者継続教育プログラム認定申請中



農業農村整備事業における水利構造物の設計法においては、これまでの仕様規定型から性能照査型への移行が進められています。

そこで平成16年度から「性能設計」をキーワードに捉え、若い技術者を対象として、性能設計の経緯と現状、設計手法の理論的根拠となる信頼性設計法、そして実設計を担う限界状態設計法と耐久性設計法についての解説、および要求性能を実現するための施設管理を行ううえで必要な維持管理・機能保全、劣化と機能の診断、さらには施工や補修・補強に当たっての考え方、および性能発注のあり方と問題点についてそれぞれの専門家に講義していただくセミナーを企画してきました。

性能設計への移行は単なる設計基準の改訂ではありません。性能規定化は国民への説明責任・ライフサイクルコストとストックマネジメントなど、技術者として必須の知識となっています。

本年度は、昨年度よりバージョンアップした性能設計の考え方を中心に本セミナーを企画しました。ふるってのご参加をお待ちしております。

#### 記

1. 日時 平成21年9月24日(木)～25日(金)

2. 会場 農業土木会館6F会議室

東京都港区新橋5-34-4 ☎03-3436-3418

3. 定員 50名程度

4. 内容

性能設計の基本的考え方をまず理解し、水利構造物の性能設計、特に限界状態設計法、維持管理、機能保全、劣化と機能の診断問題などを講義を通じて理解する。

専門講師陣により、昨年度よりバージョンアップした性能設計の考え方を習得する。

5. プログラム(予定)

性能設計の現状

信頼性の照査

安全性の照査

使用性の照査

耐久性の照査

機能保全

施工および補修・補強

性能設計の実際

6. 受講費

会 員 20,000円(消費税5%,テキスト代を含む)

非会員 25,000円(消費税5%,テキスト代を含む)

7. 募集締切 平成21年8月31日(月)

8. 申込方法

学会HP(<http://www.jsidre.or.jp>)の行事参加申込書をFAX  
またはE-mailをでお送り下さい。

9. 申込先

農業農村工学会水土技術セミナー実行委員会担当あて  
〒105 0004 東京都港区新橋5-34-4  
☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494  
E-mail: iwasaki@jsidre.or.jp

**第4回産学連携推進セミナー「ストックマネジメントとその周辺技術(仮称)」  
への参加募集について**  
行事企画委員会

技術者継続教育プログラム認定申請中



(社)農業農村工学会では、平成18年度から、農業農村整備に関する学術・技術の発展に資するよう、産と学のマッチングの場として、産学連携推進セミナーを開催してきました。

さて、先般の行事企画委員会において、平成21年度も昨年に引き続き産学連携推進セミナー(第4回)を来る11月19日(木)に開催することを決定いたしました。

今年度のテーマは「ストックマネジメントとその周辺技術(仮称)」とすることとし、今年度から各研究部会との連携を図り、大学の先生方の積極的な参加をお願いすることとなりました。

つきましては、今後さらに産と学の連携が重要になってくることを踏まえ、今年度も、昨年に引き続き下記の要領で開催することとしました。ふるってご参加願います。

記

1. 主催 (社)農業農村工学会
2. 後援 (独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所(予定)  
(社)土地改良建設協会(予定)  
(社)農業土木事業協会(予定)
3. 日時 平成21年11月19日(木)10:00~18:30

4. 場所 農業土木会館6F大会議室

5. プログラム(予定)

10:00~12:00 プレセッション - 民間企業技術紹介 -

13:00~16:20 産学連携セミナー

競争的資金、官民連携事業等の紹介

産学連携の事例

大学等によるストックマネジメントとそ

の周辺技術に関する研究・企画の紹介

16:20~17:00 ポスターセッション

17:00~18:30 情報交換会

6. 募集する参加者

(1) 報告者

農業農村工学系大学および短大(研究室単位で参加)なお、プレセッションでは、希望する民間企業は技術紹介もできます。

(2) 報告者以外の参加者

民間企業、大学、短大のほか、行政機関、研究機関などの関係者の参加を歓迎します。

**平成21年度会員名簿の掲載事項について**

平成21年度版の当学会会員名簿の発行に係る掲載事項については、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、従来どおり当学会の「会員名簿の発行に伴う個人情報の扱い」により対処しますので、掲載事項としている下記の事項について、掲載に同意されないものがあれば、会員番号と氏名を明記のうえ、郵便、E-mail またはFAXで、10月2日(金)までにご連絡下さい。(非掲載項目につきましては、前年度までにご連絡を頂いていて、変更のない場合は再度ご連絡を頂かなくても結構です)

なお、ご連絡がない場合は、掲載に同意されない事項がないものとします。

記

会員名簿掲載事項

【氏名】 【会員番号】 【出身校】 【卒年】  
【資格】 【勤務先及び役職】 【自宅住所】

【自宅電話番号】

連絡先

郵便の場合: 〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4

農業農村工学会 花塚あて

E-mailの場合: hanatsuka@jsidre.or.jp

FAXの場合: 03 3435 8494

(参考)

会員名簿発行に伴う個人情報の扱い

以下の項目を遵守することによって、個人情報取扱義務を全うする。

1. 利用目的の特定、利用目的による制限  
農業農村工学会会員名簿の作成業務及び会員管理にのみ利用し、この範囲を超えて利用しない。
2. データ内容の正確性の確保  
個人情報の正確性、最新性を確保する。

## 3. 安全管理措置, 従業者, 委託先の監督

安全管理のために, 学会職員, 印刷業者等に対して必要かつ適正な監督を行う。

## 4. 第三者提供の制限

名簿は, (社) 農業農村工学会定款第6条に定める会員及び同会員が所属する機関に限り原価にて頒布する。

### 学会創立 80 周年記念出版「水土を拓く 知の連環」の刊行について

学会創立 80 周年を記念して企画され, 編集作業を進めておりました標記図書(編集委員長: 三野 徹 鳥取環境大学教授)がこのほど刊行されることになりました。

学会は「農業土木学会」から「農業農村工学会」への名称変更先立ち, ビジョン「新たな 水土の知 の定礎に向けて」を策定しました。本書はこの 水土の知 を古代国家成立(飛鳥時代)から近代までの歴史的歩みを軸に, 各地の農業の展開と国土の開発について, 地域固有の水・土・里を「見極める」「使い尽くす」「見定める」「大事にする」「見直す」「見通す」「仲良くする」という7つの視点から整理し, これからの農業農村工学のあり方を探るものです。

一般の方にも読みやすいものとなるよう工夫されていて, 専

門家でなくても理解できますので, ぜひお読み下さい。

## 記

書 名 水土を拓く 知の連環

企画・編集 (社) 農業農村工学会「水工を拓く」編集委員会

発行 (社) 農山漁村文化協会

体裁 B5判 360ページ 上製

価格 定価 4,500円(税込・送料学会負担)

会員価格 4,000円(税込・送料学会負担)

申込先 〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

(社) 農業農村工学会事務局 図書係

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

E-mail: suido@jsidre.or.jp

### 農業農村工学会誌(総称)総目次(第6集)の発行について

学会創立 80 周年記念事業の一環として発行を予定しておりました, 総目次(第6集)がこのほど発行の運びとなりました。

ご希望の方に有償で頒布いたしますのでお申し込み下さい。

## 記

内 容 学会誌 67巻1号~76巻12号

論文集 199号~258号

英文誌 36号~44号

PWE誌 1巻1号~6巻4号

学位取得者 平成10年度~平成19年度の学位取得者名および学位論文名の一覧

体裁 A4判 約110ページ

価格 1,050円(税込・送料学会負担)

申込先 〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

(社) 農業農村工学会事務局 図書係

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

E-mail: suido@jsidre.or.jp

### 平成 22 年度農業農村工学会賞候補の推薦について(再)

平成 22 年度の農業農村工学会賞(上野賞, 沢田賞を除く)を 77 巻 6 号 p.76 の募集要項に則って, 推薦書によりご推薦下さい。

締切りは, 平成 21 年 10 月末日です。推薦書様式は学会 HP をご参照下さい。

### 平成 21 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について(再)

#### 研究委員会戦略的研究推進小委員会

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし, 下記取扱い内規によって, 競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は 60 万円程度(平成 20 年度, 原則 1 件 20 万円以内)です。

本年度の申請締切りは平成 21 年 9 月 18 日(金)です。助成金を希望される方は期限までに, 必要事項を記入した申請様式(末尾参照)で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長宛にお申し込み下さい。

試験研究機関, 行政, 大学, 民間等からの応募を歓迎いたします。

#### 「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1. 申請: 学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上, 「研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお, 申請者の資格は, 後述の「4 助成対象」に示すとおりとする。

2. 認定: 研究委員会戦略的研究推進小委員会は, 「研究申請書

作成グループ」の申請内容（申請の意義、準備の状況、将来の展望など）を検討して、助成金の配布グループと金額を決定します。なお、この決定内容は学会長に報告します。

3. 配布：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し、「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし、その配布は原則として1年とする。可否の認定に当たっては、科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先します。

4. 助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。

(イ) 具体的な研究テーマをもち、それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。

(ロ) 「研究申請書作成グループ」には代表者（本学会員）をおき、構成員（本学会員以外も可）は原則として3名以上、それらの所属する機関が二

つ以上あること。

5. 活動報告：助成金を配布された「研究申請書作成グループ」は、助成金受領後1年以内に活動報告として、作成した申請書とその提出および審査の経過を、戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され、必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

**「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式**

締 切：平成 21 年 9 月 18 日

申込先：戦略的研究推進小委員会委員長宛

E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

**必要記載事項：**

- (1) WG 名（または部会名） (2) 代表者名・所属
- (3) 参画者名・所属 (4) 研究テーマ名（仮）
- (5) 研究の目的と内容(500 字程度)
- (6) 研究資金申請応募先（予定）

**学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!**

**行事企画委員会**

**技術者継続教育機構通信教育部会**

通信教育を平成 18 年 11 月より本格実施しております。学会誌購読による自己学習で最大年間 10 CPD ポイント、また、通信教育で最大年間 18 CPD ポイント取得できますので、是非、通信教育にご参加下さい。

**1. 参加会員の募集**

参加をご希望の正・学生会員で、かつ機構会員の方は、農業農村工学会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) にある参加申込書に必要事項を記載してメール (E-mail: cpd@cpd.jsidre.or.jp) あるいは FAX (03 5777 2099) でお送り下さい。

なお、この機会に農業農村工学会、継続教育機構への入会を希望される方は、同様にホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>, <http://www.jsidre.or.jp/cpd>) に申込様式がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

**2. 申込期限**

参加は、いつからでも可能です。

**3. 内 容**

問題は3カ月前の学会誌の報文等から、機構通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で、毎回 10 問出題します。報文の事実の内容から作成し、回答はメールで機構に送信していただきます。

採点の結果、7割以上正解で1CPDポイント、満点で15CPDポイントが取得でき、機構会員の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り、自らの責任において作成していただきます。

**4. 参加費**

学会会員のための行事の一環として実施するため、学会が必要経費を負担しますので、当分の間、通信教育参加費は無料です。

**「農業農村工学会学術基金」の募金について**

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本の農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金による助成は、平成20年度までに49件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000円(何口でも可)

法人会員一口 50,000円(何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名(社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140 2 54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

## 農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い

### 災害対応特別委員会

農業農村工学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地に発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況に鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、「農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害」、「学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害」に対して、災害発生後、直ちに災害対応調査団を派遣し、調査の実施、復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで、災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に、早急に対応できるよう、調査団のメンバーを希望される方は事前に登録の申請をお願いします。審査の結果、登録された会員は、災害対応調査団候補者名簿(2年毎更新)に記載して、緊急災害等の場合に現地調査を行って頂きます。

なお、災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は、以

下のとおりです。

調査団の候補者は、高度な専門知識を有する農業農村工学会員とする。

派遣する調査団員は、候補者名簿の中から選定する。

調査団の派遣期間は、原則2~3日とする。

調査団派遣に関わる旅費は、農業農村工学会が後日精算する(年度予算限度額300万円)。

調査団員に対して、調査に必要と考えられる保険を掛ける。

調査団は、調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ、学会事務局 FAX 03 3435 8494, E-mail saigai@jsidre.or.jp までお申し込み下さい。様式は農業農村工学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)よりダウンロードして下さい。多数の応募をお待ちしております。

なお、登録頂いた個人情報、災害対応調査にのみ活用し、適切に取り扱います。

## 身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!

### 「水土の知(農業農村工学会誌)」平成22年夏季の表紙写真の募集

学会誌編集委員会では、平成22年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。

#### 趣 旨

わが国は急峻な地形であることや水田稲作が発達したことに起因して、水を制する、水を利用するための土木的施設が数多く造られてきました。それら用水路、頭首工、堰堤などの水利施設は、今も過酷な自然の猛威にさらされながらも、農業経営、防災などの面で人々の生活を支えています。また、それぞれの機能を発揮するとともに、年月を重ねることでその地域の自然や文化にとけ込み、その景観を構成する要素として不可欠なものもあります。それが大規模プロジェクトで建設されたものでなくとも、私たちが調査・研究・事業の対象としている農村地域には、規模に違いこそあれ立派に機能美と景観美を放つものが存在します。

農業・農村の現場で活躍される皆さま、日頃何気なく見過ごしているかもしれない水利遺構とそれを含み景観の美しさを再評価いただいて、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休め

て写真として記録いただき、広く学会員にご紹介下さい。特に今回は、「夏」が感じられる「水利遺構」の写真を募集いたします。

#### 記

#### 1. テーマ

「水利遺構：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」(昨年と同様)

#### 2. 対象巻号

学会誌第78巻7~9号(平成22年7~9月号)

#### 3. 写真の種類

単写真、組写真いずれもカラープリントで(デジタルカメラの場合はJPEG ファインモードまたはTIFF モードに設定)撮影して下さい(サイズは六ツ切)。組写真の場合は、その旨明記して下さい。

#### 4. 枚数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

#### 5. 締切 平成21年9月30日(夏季の写真)

6. 審査

審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

7. 結果発表

学会誌第 78 巻第 1 号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は平成 22 年度大会会場でパネル展示します。

8. 謝 礼

採用作品には規定の賞金（1 点につき 3 万円）をお支払いします。また、応募者には記念品をお送りします。

9. 「Cover History（表紙写真由来）」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History（表紙写真由来）」をご執筆頂きます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。なお、些少ですが原稿料をお支払いします。

10. 使用権

採用作品の使用権は（社）農業農村工学会に属します。

11. 注意点

応募された被写体の季節が極端に偏ることから、募集する季節ごとに締切を設けさせていただきました。

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙

写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、水利構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）、また、デジタル画像の場合は表紙に拡大したときにドット崩れしない十分な解像度があること、が採用の条件となります。

12. 応募方法および応募先

学会ホームページより 応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、撮影データ（フィルム、使用カメラ等）、対象物の固有名詞（固有名詞）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお、原則として、応募写真は返却しません。

〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

（社）農業農村工学会

農業農村工学会誌編集委員会「表紙写真公募」係

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

E-mail : suido@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿下さい。

学会誌 77, 78 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 ( A4 判 1,500 字以内 )	原 稿 締 切 ( 刷 上 り 4 ページ厳守 )
77 巻 9 号 食料自給力の向上に向けた農業農村工学（仮）	公募終了	
10 号 学会創立 80 周年記念企画（仮）	公募せず	
11 号 農村地域における被災時の支援（仮）	公募終了	
12 号 小規模灌漑施設のマネジメント（仮）	公募終了	平成 21 年 9 月 10 日
78 巻 1 号 地球環境（地球温暖化）問題と農業農村工学（仮）	公募せず	平成 21 年 10 月 9 日
2 号 生態系配慮施設の順応的管理（仮）	平成 21 年 9 月 25 日	平成 21 年 11 月 10 日
3 号 鳥獣被害防止対策とその効果（仮）	平成 21 年 10 月 23 日	平成 21 年 12 月 10 日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌編集委員会あてにお寄せ下さい。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

ます。

送付先 〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

（社）農業農村工学会 学会誌編集委員会あて

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

E mail : henshu@jsidre.or.jp

78 巻 2 号テーマ「整備された環境配慮（生態系保全）施設の順応的管理」（仮）

水田整備等における生態系配慮の取組みについては、平成 13 年度の土地改良法改正に伴い、さまざまな配慮工法等が考案され、対策が講じられてきたところです。

しかしながら、これまでの水田整備等における生態系配慮の

取組みは、科学的な検討の上で実施されてきたものの、事前の予測とは異なる生態系の反応や周辺状況の変化等により、機能が十分に発揮されていない場合や、整備された水田等を核にさらに広域的な環境向上が求められている地域などが出てきてい

ます。

このような状況の中で、生物多様性保全を一層推進するためには、周辺状況の変化等に応じて、モニタリング結果により得られた情報を収集し、必要に応じて施設の補修や修正を行う管理である「順応的管理」を実施することが重要であります。具体的には、整備を行った後に、生物の生息・生育状況や環境の復元状況などを見ながら、簡単な手直しを行うことであり、たとえば、水田魚道であれば、魚が遡上できる流速や流量となっているか確認したうえで、必要があれば水田魚道内の間仕切り

を追加するなどして、流速や流量を調整することや、また、石積水路であれば、その生息環境を確認した上で、必要があれば水路内に置石を行い、多様な流れとよどみ部を創出することなどが考えられます。

そこで、本特集では、整備後の水田等を核とした地域の生物多様性保全を一層推進していくという観点から、整備された環境配慮（生態系保全）施設の順応的管理について、その取組み事例や技術動向などの報文を広く募集いたします。

## 「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の薦める本」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」、また、会員が薦める書籍などを紹介するコーナーとして、「私の薦める本」を設け、随時募集しております。多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするともに、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと考えております。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

**オフィス便り**は、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・

「技術力の向上」・「技術者倫理」など。

**キャンパス便り**は、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるもの。

原稿の長さは、**刷上り2ページ**(4,000字程度)で、写真を1~2枚程度入れて下さい。

**私の薦める本**は、「書籍」・「その他の著作物」など。原稿の長さは写真等を含め**刷上り1ページ以内**(1,200字)で、原稿には表紙の写真を含めて下さい。

奮ってご投稿下さい。

## 国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

国際水田・水環境工学会(International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES)は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊し、2009年9月末にVol.7, No.3が発行されます。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを希望します。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水(排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生, 陸生動物植物の生態系)
- ⑦ 地域計画(農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ パイオ環境システム(水田農業と水環境, 土壌環境, 気

象環境)

- ⑨ 水田の多目的利用(田畑転換, 施設園芸)
- ⑩ 農業政策(農村振興, 条件不利地の支援策など)

水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、年4回無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag社(ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000円/年/4冊(送料等学会負担)

学生会員(院生含む) 8,500円/年/4冊(送料等学会負担)

申込先: 農業農村工学会編集出版部 馬目あて

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込は、学会ホームページ <http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm> の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ、メールまたはFAXでお申し込みいただけます。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の Editorial Panel の新体制について

Paddy and Water Environment の出版事業の円滑な運営のために編集体制を強化することとなり、新規委員の追加、委員の交代等がありましたので、お知らせいたします。

(日本から選出の委員のみ)

1. Managing Editor

新委員	新委員の所属	前委員
凌 祥之	農村工学研究所	松野 裕
堀野 治彦	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	渡邊 紹裕
福村 一成	宇都宮大学農学部	溝口 勝

2. Editing Board

新委員	新委員の所属	前委員
松野 裕	近畿大学農学部	向後 雄二
中村 公人	京都大学大学院農学研究科	後藤 章

中川 博視	石川県立大学生物資源環境学部	新規
佐藤 政良	筑波大学大学院生命環境科学研究科	留任
高木 和宏	農業環境技術研究所	留任

3. Editor

新委員	新委員の所属	前委員
渡邊 紹裕	総合地球環境学研究所	長谷川周一
向後 雄二	東京農工大学農学教育部	新規
溝口 勝	東京大学大学院農学生命科学研究科	新規
森井 俊広	新潟大学農学部	新規
増本 隆夫	農村工学研究所	新規
森 健	元九州大学大学院	新規
木村 真人	名古屋大学大学院生命農学研究科	留任

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと  
2009年1月から2011年12月までの編集事務局(投稿先)のお知らせ

国際水田・水環境工学会(International Society of Paddy and Water Environment Engineering)は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2009年9月末にVol.7, No.3が発刊されます。

わが国においても学術誌の評価に、SCI(Science Citation Index)のIF(Impact Factor)が利用されており、本国際ジャーナルでもIFの取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国からEditor(20名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りませんが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

2009年1月から2011年12月までの編集事務局(投稿先)は、台湾になります。

**投稿先:** Yu-Pin Lin, Ph.D., Professor

Department of Bioenvironmental Systems Engineering National Taiwan University

No.1, Sec.4 Roosevelt Road, Taipei, 10617 Taiwan (R.O.C.)

E-mail: yplin@ntu.edu.tw

TEL: +8862 2 3366 3467

FAX: +8862 2 2363 5854

(During Jan. 2009 to Dec. 2011)

**編集方針:** 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等 である。

**編集体制**

• Editor in Chief : Dr. Yoshisuke Nakano (Japan)  
Professor Emeritus, Kyushu University, Japan

• Editors 13カ国から20名

• Editing Board 33名

• Managing Editors

• Chief Managing Editor : Prof. Dr. Yu-Pin LIN

Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of China

• Dr. Katsuyuki SHINOBU

National Institute for Rural Engineering, Tsukuba, Japan

• Prof. Dr. Haruhiko HORINO

Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Osaka, Japan

• Dr. Kazunari FUKUMURA

Department of Agricultural Environmental Engineer-

ing, Utsunomiya University, Utsunomiya, Japan  
 • Prof. Dr. Soon-Jin HWANG  
 Department of Environmental Science, Konkuk University, Seoul, Korea

出版社：Springer Verlag 社（ドイツ）  
 投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。  
 投稿要領等：http://www.jsidre.or.jp に詳細を記載していません。

## 第12回(2010年)「日本水大賞」募集要項について

### 1. 目的

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水循環系の健全化に寄与することを目的としています。

本賞を実施するために、日本水大賞委員会を設け、企画・運営・審査を行います。

### 2. 対象範囲

#### (1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、水環境、水資源、水文化、水防災、のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

#### (2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校、企業、団体、個人、行政の方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

### 3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。

大賞【グランプリ】(賞状・副賞 200 万円)

大臣賞(賞状・副賞 50 万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】

【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】

市民活動賞【読売新聞社賞】(賞状・副賞 30 万円)

国際貢献賞(賞状・副賞 30 万円)

奨励賞(賞状・副賞 10 万円)

審査部会特別賞(賞状・副賞 10 万円)

タイムリー賞(公募なし)

### 4. 選定の方法等

日本水大賞委員会の下に、上記の賞を選考するために各々の審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本水大賞委員会が決定します。

### 5. 募集期間

平成 21 年 7 月 7 日～11 月 30 日(郵送の場合は当日消印有効)

### 6. 応募方法

応募用紙 3 枚：ホームページからダウンロードして下さい)に必要事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を事務局宛送付または持参して下さい。応募用紙および添付資料が電子データの場合は、E-mail でも応募を受け付けます。

応募の詳細はホームページを参照して下さい。

### 7. 審査結果の公表

審査の結果は、平成 22 年 3 月下旬に(社)日本河川協会のホームページおよび新聞紙上にて公表する予定です。入賞者には個別に連絡いたします。

### 8. 主催等

(1) 主催 日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮文仁殿下

委員長 山岸 哲((財)山階鳥類研究所所長)

副委員長 虫明功臣(法政大学大学院工学研究科客員教授)

(2) 後援(予定)

環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、(社)農業農村工学会ほか 34 団体

(3) 協賛

「川の日」実行委員会ほか 6 団体

### 9. 送付先・問合せ先

【日本水大賞委員会事務局】

(社)日本河川協会

〒102 0083 東京都千代田区麹町 2 6 5 麹町 E. C. K ビル 3 階

☎03 3238 9771 FAX 03 3288 2426

URL: http://www.japanriver.or.jp/taisyo/

E-mail: taisyo@japanriver.or.jp

担当: 塚本、佐藤(平日 9:15~17:30)

<本事業は、(財)河川環境管理財団河川整備基金の助成を受けて実施しています>

## 第60回関東支部大会講演会申込先および問合せ先(事務局)のE-mailアドレスの訂正について

77巻7号会告に掲載しました「第60回関東支部大会講演会の開催について」の中で、申込先および問合せ先(事務局)のE-mailアドレスに誤りがありました。下記のとおり訂正をお願い致します。

誤: kantoshibu@mz.pref.lg.chiba.jp

正: kantoshibu@mz.pref.chiba.lg.jp

**第 58 回北海道支部研究発表会の開催について（第 1 報）**

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成 21 年 10 月 28 日（水）  
 2. 会 場 札幌市・北海道大学学術交流会館 講堂  
 （札幌市北区北 8 条西 5 丁目・北大正門すぐ）

**3. 研究発表申込み**

発表を希望する方は投稿原稿に先立ち、発表表題・発表者名と発表形式の希望（口頭またはポスター）を E-mail, FAX または郵送にてお申し込み下さい。

発表申込みの締切は平成 21 年 9 月 18 日（金）です。

発表申込者には折り返し講演集原稿作成要領をお送りします。

講演集原稿の締切は平成 21 年 10 月 9 日（金）です。

**4. 参加申込み**

下記様式により、E-mail, FAX または郵送にてお申し込み下さい。

参加申込み締切は平成 21 年 10 月 16 日（金）です。

所属機関 \_\_\_\_\_

同上所在地 \_\_\_\_\_

申込代表者 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

氏 名	所 属	備 考

**5. 発表・参加申込先**

〒060 - 8589 北海道大学大学院農学研究院内  
 農業農村工学会北海道支部事務局  
 担当：柏木淳一 E-mail : kashi@envagr.hokudai.ac.jp  
 ☎011 706 3641 FAX 011 706 2494

**6. 参加費用**

2,000 円（当日会場にて申し受けます。）

**平成 21 年度東北支部総会・第 52 回支部研究発表会  
 ならびに第 43 回支部研修会・第 33 回地方講習会の開催について（第 3 報）**

技術者継続教育プログラム申請中



1. 期 日 平成 21 年 10 月 29 日（木）、10 月 30 日（金）  
 2. 会 場 青森市「ラ・プラス青い森」  
 〒030 0822 青森市中央 1 11 18  
 ☎017 734 4371 FAX 017 775 1218

**3. プログラム**

第 1 日目 10 月 29 日（木）

- (1) 総会ならびに研究発表会  
 9:00~9:30 受 付  
 9:30~10:15 支部総会  
 10:15~10:45 支部賞授賞式  
 10:45~11:00 休 憩  
 11:00~12:00 特別講演「地球温暖化と農業・農村」  
 総合地球環境学研究所教授 渡邊紹裕  
 12:00~13:00 昼食・休憩  
 13:00~17:00 第 52 回支部研究発表会（4 会場を予定）

- (2) 情報交換会  
 18:00~19:30 会場：「ラ・プラス青い森」カメラア

第 2 日目 10 月 30 日（金）

- (3) 支部研修会・地方講習会  
 9:00~9:30 受 付  
 9:30~9:40 開会挨拶  
 9:40~12:00 第 43 回支部研修会  
 『地域づくりの新しいかたち あおもり発！環境公共の推進』  
 基調講演「水土を拓く 環境・公共・地域」  
 （独 水資源機構 水路事業部長 広瀬 伸

- 事例発表「青森県における環境公共の取組」  
 青森県農林水産部農村整備課  
 12:00~13:00 昼食・休憩  
 13:00~15:20 第 33 回地方講習会  
 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」の解説  
 農村振興局整備部設計課施工企画調整室  
 「農業水利施設の機能保全の手引き パイプライン」の策定について  
 農村振興局整備部水資源課施設保全管理室  
 15:20~15:30 閉 会

**4. 参加申込みと参加費振込先**

平成 21 年度の大会全般を青森県が担当しますが、研究発表会のプログラム編集は弘前大学が担当します。  
 そのため、『参加申込み・参加費納入先（A）』と『研究発表申込み（B）』が、それぞれ下記のように異なりますので注意して下さい。

**A. 参加申込み・参加費納入先**

(1) 参加費内訳

- 総会ならびに研究発表会 3,000 円（学生会員 2,000 円）  
 支部研修会ならびに地方講習会 7,000 円（非会員 8,000 円）  
 情報交換会 5,000 円  
 昼食 1,000 円（1 食分消費税込み）

（会場周辺は食事をする場所が少なく、時間帯からも混み合うことが予想されますので、昼食の手配をご利用下さい。）

(2) 申込みおよび問合せ先

青森県農林水産部農村整備課企画・調整グループ

浅利, 工藤

〒030 8570 青森市長島 1 1 1

☎017 734 9545 FAX 017 734 8149

E-mail : nntohoku 21@yahoo.co.jp

(参加申込み専用アドレス)

申込書式(下記東北支部開設のホームページよりダウンロードできます)により所属機関ごと一括して, FAX, E-mail または郵送にてお申し込み下さい。

<http://www.2.vmas.kitasato-u.ac.jp/nntohoku/>

記入例

農業農村工学会東北支部総会・研修会参加申込書

所属機関名:

所在地:(〒 )

連絡者名(ふりがな):

電話/FAX:

E-mail:

所属	氏名	CPD 番号 (技術者 継続教 育機構)	総会・研究発表会			研修会・講習会		合計 金額
			参加費 (学生会員)	昼食	情報 交換会	参加費 (非会員)	昼食	
例 青森県	青森太郎	L12345	3,000 (2,000)	1,000	5,000	7,000 (8,000)	1,000	18,000
例 弘前大学	青森花子		2,000	1,000	0	0	0	3,000
総合計金額								21,000

(3) 参加費の振込先

銀行名 青森銀行 県庁支店(店番号 106)

口座番号 普通 3000382

加入者名 農業農村工学会東北支部大会事務局

会計 浅利 満

(ノウギョウノウソンコウガクカイトウホクシ  
ブタイカイジムキョク カイケイ アサリ  
ミツル)

手数料は振込者負担をお願いします。

(4) 参加費の納入と取り消し等

参加費の納入は, 申込みと同時に銀行振込で全額納入して下さい。

なお, 参加取り消し等による参加費の返金には応じかねますので, ご注意下さい。

(5) 参加申込み受付期間

平成 21 年 8 月 3 日(月)~平成 21 年 10 月 2 日(金)

B. 研究発表申込み方法

(1) 研究発表申込み/問合せ先

研究発表要旨集原稿に投稿票を添えて, 下記にお申し込み下さい。

〒036 8561 青森県弘前市文京町 3

弘前大学農学生命科学部 加藤 幸(かとう こう)

TEL&FAX 0172 39 3869

E-mail : kato@cc.hirosaki-u.ac.jp

(2) 要 領

研究発表要旨集原稿・投稿票の書き方については下記の農業農村工学会ホームページまたは東北支部ホームページを参照して下さい。

<http://www.jsidre.or.jp/>

<http://www.2.vmas.kitasato-u.ac.jp/nntohoku/H21sibukai.html>

(3) 発表時間・発表手段

発表時間は 15 分以内(発表 12 分, 質疑 3 分)

発表補助手段 パソコン使用可 Power Point, CD-R, USB メモリ使用可)

(4) 研究発表申込み受付期間

平成 21 年 8 月 10 日(月)~8 月 31 日(月)【締切厳守】

5. 会場への案内

(1) JR 利用の場合

・JR 青森駅東口から徒歩 25 分(タクシーで 5 分)

(2) 航空機, 高速バス利用の場合

・青森空港より空港連絡バスで約 30 分

・空港連絡バス・高速バスとも柳町通り(やなぎまちどおり)バス停下車, 徒歩 3 分

(3) 自家用車の場合

・青森自動車道青森中央 IC から約 10 分

自家用車の場合, 「ラ・プラス青い森」の駐車場を利用できますが, 台数に限りがありますので, 満車の際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

6. 宿泊について

宿泊についての斡旋はいたしませんので, ご了承下さい。

東北支部大会の最新情報は下記ホームページでお知らせいたしますので, ご活用下さい。

<http://www.2.vmas.kitasato-u.ac.jp/nntohoku/>

平成 21 年度九州支部第 90 回講演会・ポスターセッション  
第 32 回講習会・シンポジウム・現地見学会の開催について(第 2 報)

技術者継続教育プログラム申請中



1. 日 時

平成 21 年 10 月 27 日(火)

9:30~17:30: 講演会・ポスターセッション

平成 21 年 10 月 28 日(水)

9:30~17:00: 講習会・シンポジウム(午前)

現地見学会(午後)

2. 会場(講演会・ポスターセッション・講習会・シンポジウム)

ジェイドガーデンパレス  
〒890 0055 鹿児島県鹿児島市上荒田 19 1 ☎099 257 1211  
鹿児島中央駅 徒歩 10 分

「逆止弁による塩ビ系送水ラインにおける水撃圧抑制について（仮題）」

宮崎大学大学院農学工学総合研究科 高橋 研二  
総司会 鹿児島大学農学部准教授 中川 啓

### 3. プログラム

- (1) 10月27日(火): 講演会・ポスターセッション  
9:00~9:30 受付  
9:30~10:00 開会式(飛翔の間)  
開会あいさつ 農業農村工学会九州支部長  
佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋  
来賓祝辞 [未定]  
歓迎あいさつ 鹿児島県農政部 弓指 博昭  
10:00~10:20 支部賞表彰式(飛翔の間)  
支部賞発表 九州支部賞選考委員長  
鹿児島大学農学部教授 高木 東  
支部賞授与 農業農村工学会九州支部長  
佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋  
10:30~17:30 講演会(第1~4会場予定)  
第1会場 飛翔の間(4F) 第2会場 孔雀の間(4F)  
第3会場 飛天の間(4F) 第4会場 フェニックス  
(4F)

- (4) 10月28日(水): ポスターセッション表彰式  
場所: 第2会場(孔雀の間 4F)  
時間: 11:30~11:40  
表彰授与 農業農村工学会九州支部長  
佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋  
(5) 10月28日(水): 現地見学会  
集合時間: 12:50  
集合場所: ジェイドガーデンパレス(正面玄関前)  
予定コース:(出発)ジェイドガーデンパレス 13:00  
14:00 知覧特攻平和会館 15:00 15:30 畑の館 水  
土利館 16:00 17:00 頃 鹿児島中央駅付近(解散)  
(参加人数が25名に満たない場合は、中止する場合がございますのでご了承下さい。)

12:00~17:30 ポスターセッション  
会場近隣展示スペース(4F)

- (2) 10月28日(水): 講習会  
場所: 第1会場(飛翔の間 4F)  
9:00~9:30 受付  
9:30~9:40 開会あいさつ  
農業農村工学会九州支部長  
佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋  
9:40~10:30 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」の解説(予定)  
農村振興局整備部設計課施工企画調整室  
10:40~11:40 「農業水利施設の機能保全の手引きパイプライン」の策定について(予定)  
農村振興局整備部水資源課施設保全管理室  
11:40~11:50 閉会

### 4. 参加費用

	10月27日(火)		10月28日(水)		講演会+講習会参加費用(*2)
	講演会参加費用	昼食幕の内弁当	講習会参加費用	現地見学会参加費用(*1) 昼食幕の内弁当	
一般料金	4,000円	1,050円	4,000円	3,000円	7,000円
学生料金	2,000円	1,050円	2,000円	3,000円	4,000円

(\*1) 現地見学会参加費内訳: 資料代 1,000円, バス代経費 2,000円  
(\*2) 講演会・講習会とも受講される場合: 7,000円(学生 4,000円)

### 5. 講演会の講演申込み

平成21年度の大会全般を鹿児島県が担当しますが、講演会等のプログラム編集は佐賀大学が担当します。講演申込み(原稿投稿先)は下記によりお申し込み下さい。

- (1) 投稿締切 平成21年9月7日(月)  
(2) 投稿先  
〒840 8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地  
佐賀大学農学部 近藤 文義あて  
☎0952 28 8761(直通) FAX 0952 28 8709  
E-mail: kondof@cc.saga-u.ac.jp

- (3) 投稿要領  
講演希望者は、「講演原稿」と別紙「講演会投稿票」を投稿先(佐賀大学農学部近藤)までお送り下さい。講演会投稿票には、演題・氏名・勤務先・所属等を記入の上、フロッピーディスクまたはメールの添付ファイルで投稿先までお送り下さい。

- (4) 原稿の書き方  
図・表・写真等を含めて、1題につき2ページまたは4ページとし、3ページや5ページ以上の原稿は受け付けません。原稿や投稿票の作成方法は農業農村工学会ホームページ【<http://www.jsidre.or.jp/news/kaikoku/21shibutoukou.htm>】「支部講演会の投稿票について」に掲載されています

- (3) 10月28日(水): シンポジウム  
場所: 第2会場(孔雀の間 4F)  
時間: 9:30~11:30  
課題「九州・沖縄における土と水に関する諸問題」  
「異種ベントナイトにおける鉛の吸着能と保持形態評価(仮題)」  
九州大学大学院生物資源環境科学府 中野 晶子  
「TERRA-ASTER データによる山地流域のLAI及び蒸発散量の推定(仮題)」  
鹿児島大学大学院連合農学研究科 申 龍熙

ので、参照またはダウンロードして下さい。

#### (5) 講演方法

1 題につき、質問・交代時間を含めて 12~15 分程度の発表とします。なお 講演の補助機材としてパソコン (OS:WindowsXP, ソフト:PowerPoint 2003) とプロジェクターを事務局で用意しますが、OHP やスライドは準備しませんので、ご了承下さい。

### 6. ポスターセッションの申込み

近年、九州支部講演会においては、学生会員の講演件数が増加しています。また、平成 13 年度からは、シンポジウムを支部講演会と同時に開催し、内容の充実を図っています。したがって、1 課題当たりの講演時間を確保し、プログラムの編成を容易にするために昨年度に引き続き口頭発表に加えてポスター発表を企画しております。このポスター発表は、研究の背景や成果および将来への展望などを発表者と参加者が 1 対 1 の差し向かいで討議できるという口頭発表では現実しがたい特徴を備えています。

本年度も、原則として学生会員 (学部生・研究生・大学院修士) を対象に募集します。なお、ポスターセッションは、会場のスペースの関係で発表者の制限を設ける場合がありますので、ご了解下さい。また、発表者の中からポスター賞を若干名授与します。

今年度より、ポスター申込みは講演会の講演申込みに準じることとしますので、事前のポスター送付は不要です。投稿要領と原稿の書き方を参照の上 2 ページまたは 4 ページにて締切日までに原稿を投稿下さい。なお、投稿票の 6 発表使用機材欄には「ポスター」と記入して下さい。

(1) 枚数 1 課題 A0 版 1 枚以内

(2) 掲示

ポスターは、10 月 27 日 (火) 12:00 までに本人の責任で所定の位置に掲示して下さい。当日は掲示用に 2.1 m (縦) × 1.8 m (幅) のパネルを設置する予定です。

### 7. 参加申込方法

(1) 参加申込み

参加申込みは、農業農村工学会ホームページ内の九州支部第 90 回講演会・第 32 回講習会・ポスターセッション・シンポジウム・現地見学会の申込みについて (<http://www.jsidre.or.jp/newinfo/kyushushibu.htm>) にアクセスし、参加申込書をダウンロードして下さい。参加申込書に必要事項を記載の上、FAX にて 099 206 7312 まで送信して頂き

ますようお願いいたします。

(2) 申込期限 平成 21 年 8 月 28 日 (金)

なお、会場の都合により定員になり次第締切りますので早めにお申し込み下さい。

(3) 参加費の納入

申込みを受け付けた後、トラベルジャパン観光より 10 月中旬以降に確認書・請求書を送付いたしますので、内容を確認のうえ、同封の請求書記載の期限までにお振り込みいただくか、当日お支払い下さい。(10 月 16 日以降の取り消しについては、参加費を徴収致しますのでご了承下さい。)

(4) 宿泊施設の斡旋

宿泊の斡旋は、トラベルジャパン観光 (受付業務代行業者) を通じて行います。ご希望の方は、農業農村工学会ホームページ内の「九州支部講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会の申込みについて」に掲載されているホテルの中からお選びいただき、参加申込書に該当するホテルの記号をご記入の上、FAX にてお申し込み下さい。なお、客室の都合上希望に添えない場合がございますのでご了承下さい。

### 8. 申込先・振込先・問合せ先

(1) 申込先

トラベルジャパン観光 (受付業務代行)

〒890 0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町 49 10

第一丸喜ビル 1F

☎099 206 7228 FAX 099 206 7312

営業時間: 平日 9:00~17:00

E-mail: qqem3u6d@aria.ocn.ne.jp

土日・祝日は休業日となります。(土日・祝日は翌営業日受付となります)

(2) 振込先

関係書類送付時に通知致します。(開催日 10 日前頃を予定)

### 9. 事務局

農業農村工学会九州支部講演会・講習会運営事務局

鹿児島県農政部農地建設課: 西園, 井上

〒890 8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 10 1

☎099 286 3242 FAX 099 286 5603

E-mail: k-seibi@pref.kagoshima.lg.jp

E-mail: inoue-m@pref.kagoshima.lg.jp

## 平成 21 年度農村道路研究集会・現地研修会開催について

技術者継続教育プログラム認定申請中



農村道路研究部会では、以下のとおり第 19 回研究集会および現地研修会を開催しますので、ご案内いたします。

1. 期日 平成 21 年 11 月 5 日 (木) 研究集会

平成 21 年 11 月 6 日 (金) 現地見学会

2. 実施場所 宮城県

3. 研究集会

1) 日時: 11 月 5 日 (木) 13:00~17:00

2) 課題: 特定課題: 「農業農村振興に果たす農道の役割」

農道のメンテナンスを中心に～

自由課題(公募)

3) 会費: 4,000 円/人

4. 現地研修会

1) 日時: 11 月 6 日(金) 9:00~15:00

2) 会費: 3,000 円/人(バス代)

5. 発表申込み・参加申込み

発表申込み・参加申込みフォームおよび論文フォーマットのダウンロードは以下のサイトからお願いいたします。同サイトに研究集会・現地研修会の詳細情報を順次掲載します。

<http://www.nodai.ac.jp/eng/original/hyse/JSIDRE/Annual-Meeting.html>

1) 自由課題の発表申込みは、発表論文の提出と同時にお願いいたします。なお、発表論文提出切は 10 月 9 日(金)とし、事務局へ「E-mail」で提出願います。ただし、発表申込みは執筆者のみとしますので、連名者で発表会に参加される方は別途お申し込み下さい。

2) 参加申込みは、下記様式により平成 20 年 10 月 10 日(土)までに事務局へ「E-mail」でお願いいたします。なお、参加取消しは 10 月 28 日(水)までお願いいたします。

3) 参加費は、原則として申込みと同時に以下の銀行口座に納金(振込み手数料は参加者でご負担)願います。やむを得ない理由がある場合には現地精算も可能ですので、事務局まで個別にご連絡下さい。また、会場・バスの手配等の都合上、10 月 28 日以降は半額申し受けますのでご了承下さい。

取扱銀行 三井住友銀行 <sup>きょうどう</sup>経堂支店 店番号 597

口座番号 6610166

口 座 名 農道研究部会 会計 竹内康(タケウチヤスシ)

4) 発表原稿書式

・用紙: A4 縦・横書き ・字数: 40 文字×42 行

・体裁: 1 段組

・余白: 上マージン 25 mm, 下マージン 27 mm, 左右マージン 25 mm

・文字サイズ: 11 ポイント(本文, 見出し)・14 ポイント(タイトル)

・フォント: 明朝(本文)・Roman(本文内英数字)・ゴシック(タイトル, 見出し)

・1 行目にタイトルを中心合わせて 3 行目以降に著者(連名の場合は発表者に), 著者の後に 1 行空けて本文を書き始めて下さい。

・図表および写真のキャプションは、図・写真の場合は下、表の場合は上に書き添えて下さい。

・中央下(フッタ内)にページ番号(11 ポイント)を入れ、PDF 形式のファイルをメールでお送り下さい。

・講演用ファイルは PowerPoint 2003 形式(.ppt)とします。ファイルの提出期限等については別途連絡いたします。

6. 問合せ・申込み先

事務局: 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

竹内 康

〒156 8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

☎03 5477 2334 FAX 03 5477 2620

E-mail: bamboo@nodai.ac.jp

7. 宿泊について

各自で、ご手配方お願いします。

第 22 回水文・水環境研究部会シンポジウムの開催について

技術者継続教育プログラム認定申請中



水文・水環境研究部会では、第 22 回シンポジウムを開催します。講演申込み、参加申込みについては下記のとおりです。

1. 期 日 平成 21 年 11 月 26 日(木)27 日(金)

2. 会 場 つくば国際会議場 会議室 403

〒305 0032 茨城県つくば市竹園 2 20 3

☎029 861 0001 FAX 029 861 1209

つくばエクスプレス「つくば駅」から徒歩十分

(会場の詳細についてはつくば国際会議場 HP

<http://www.epochal.or.jp/>をご覧ください)

3. プログラム(予定)

11 月 26 日(木)

12:45~13:00 受付

13:00~18:00 研究会(特別講演・一般講演)

18:00~20:00 情報交換会

11 月 27 日(金)

9:00~12:00 研究会(一般講演)

14:00~16:00 研究施設探訪

(独)農研機構農村工学研究所 農村資

源研究棟(水文情報収集発信システム・

3D ドーム・DNA 解析室)

つくばエクスプレス「みどりの駅」で解散

4. 講演内容

特別講演「農業水利からみた水の課題(仮題)」

筑波大学大学院生命環境科学研究科 佐藤政良教授

一般講演「農林地および広域の水文・水環境」に関する講演

5. 講演時間 1 課題 30 分程度(質疑応答も含む)

6. 参加費 研究会参加費 1,000 円

情報交換会参加費 5,000 円(予定)

7. 講演申込み

一般講演を募集します。講演原稿は 10 頁以内で部会誌「応用水文 No 22」に「論文(査読原稿)」もしくは「部会報告(査読無し原稿)」として掲載され頒布されます。申込締切日は 10

月2日(金),原稿提出締切は10月16日(金)です。講演申込時には講演題目,講演者名,連絡先(住所,TEL,FAX,E-mail),原稿種別をお知らせ下さい。なお,講演原稿の書式等については部会ホームページをご覧ください。か水文・水環境研究部会事務局へお問い合わせ下さい。

#### 8. 研究会・情報交換会の参加申込み

ご氏名,連絡先(住所,TEL,FAX,E-mail)および参加項目(研究会・見学会・情報交換会)を記載の上,下記の水文・水環境研究部会事務局宛 FAX または E-mail でお申し込み下さい。参加申込締切日は11月13日(金)です。

#### 9. 申込み・原稿送付および問合せ先

講演申込みおよび研究会・情報交換会参加申込み,原稿送付およびその他シンポジウムに関するお問合せは下記の水文・水環境研究部会事務局までお願いします。また,最新情報および詳細情報は部会ホームページ(<http://ealfor.ans.kobe-u.ac.jp/hydenv/index.html>)にも掲載されます。

〒305 8609 茨城県つくば市観音台216

農研機構農村工学研究所 水文水資源研究室 堀川直紀あて

☎029 838 7538 FAX 029 838 7609

E-mail: horikawa@affrc.go.jp

【付記】宿泊の斡旋は致しません。会議場に併設されたホテルのほか,つくば駅周辺にご利用頂けるホテルがあります。

### 平成21年度資源循環研究部会研究発表会の発表申込みについて

技術者継続教育プログラム認定申請中



資源循環研究部会では,農村における水循環やバイオマスの利活用に係る技術の発展及びこれら技術に関心を有する者の学術交流を目的として,研究発表会を開催します。

つきましては,農業農村工学会会員および資源循環研究部会員の皆様方から広く発表者を募りますので,積極的なご応募・ご参加をお待ちしています。

なお,発表会の聴講申込みにつきましては,詳細が明らかになり次第お知らせします。

#### 1. 開催日

平成21年12月10日(木)~12日(土)のうち一日

10:00~16:00(予定)

バイオマス展2009の併催セミナーとして開催予定。

#### 2. 会場 東京ビッグサイト

#### 3. 内容

農村における水やバイオマス等資源の利活用および循環に係る調査・研究の最新成果

#### 4. 発表要領

##### (1) 発表者の資格

農業農村工学会資源循環研究部会会員とします。(申込みと併せての入会も可能です)

##### (2) 発表の内容

農村における水やバイオマス等有機資源の利活用および循環に係る調査・研究の成果

(農業集落排水技術,バイオマス利活用,水資源再利用,汚泥再資源化技術等)

##### (3) 発表方法

個人発表とし,1人(共同研究の場合は口頭発表者)1課題とします。

発表を補助する映像機器として,パソコンおよびプロジェクターを用意します。

##### (4) 発表時間

20分程度/人(発表17分,質疑応答3分程度)の予定です。

##### (5) 論文集

論文集を作成し配布します。

##### (6) その他

優秀な論文については,部会長賞を与え,発表会場で表彰することを予定しております。

#### 5. 申込方法

##### (1) 発表申込み

申込用紙の提出をもって申込みとみなします。

申込用紙は研究部会 HP よりダウンロードして下さい。

原則として電子メールにて受け付けます。受理次第,当方から確認のメールを送信させていただきます。

締切りは平成21年8月21日(金)とします。

なるべく多くの方に発表してもらおう考えですが,応募総数,内容によってお断りする場合があります。応募者へは8月末に通知する予定です。

##### (2) 投稿

発表が決定した応募者には,論文を作成していただきます。論文集原稿作成要領を研究部会 HP に掲載しております。

投稿締切りは平成21年9月29日(火)とします。

論文は,査読委員会にて査読を行い,場合によっては加筆修正をお願いする場合があります。

##### (3) 申込み・問合せ先

農業農村工学会 資源循環研究部会

事務局:(社)地域資源循環技術センター集落排水部企画班(担当:岩下)

〒105 0012 東京都港区芝大門113

日本赤十字社ビル

☎03 3432 6282 FAX 03 3432 0743

E-mail: sigen@jarus.or.jp

研究部会 HP:

<http://www.jarus.or.jp/news/030617 sigentop.html>